

(その四)

工場又は事業場の名称	東洋合成工業株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
<input checked="" type="radio"/> C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<p>・平成21年度の削減実績は10%を達成することが出来た。</p>
<p>・しかし、平成20年度の目標を達成する結果にならず、また、削減の大きな要因は、生産量の減少による、取り扱い量の減少による効果である。</p>
<p>今後の対策として、</p>
<p>1) VOC燃焼設備への排ガス導入量を30%増やし、VOCの大気排出量を削減します。</p>
<p>・VOC燃焼設備へのダクトの増強による排ガス処理量の増加。</p>
<p>2) 活性炭吸着塔(PSA)への排ガス導入量を10%増加させ、廃液の回収量を増加させると共に、VOCの大気排出量を削減します。</p>
<p>・活性炭吸着塔(PSA)へのダクトの増強による廃液の回収量の増加。</p>
<p>・廃液回収量の正確な把握のために、積算流量計(FQ)を設置します。</p>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。